

普及活動情勢報告

(各月の普及の動き毎月 25 日までに報告)

普及活動情勢報告 (平成 25 年 12 月分)

中央東農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

冬期のニラ栽培管理技術の向上



野市地区での現地検討会

11月12日から12月9日までの間、JA土佐香美ニラ部会では16地区で現地検討会を開催し、72名が参加しました。

現地検討会では、参加者のほ場を巡回して、冬期の基本的な栽培管理技術について確認しました。

農業改良普及課は、今年問題となっている病害対策を指導しました。

参加者からは、「他の生産者のほ場を見ることで栽培管理の参考になった」という声がありました。

農業改良普及課は、栽培管理のポイントとなる時期に現地検討会を開催、支援していきます。

暑さ、寒さに負けない！青ネギの周年安定出荷を目指して



ほ場にて意見交換

11月25日～12月3日にかけてJA土佐香美洋菜部会で青ネギの現地検討会を開催し、合計60名が参加しました。

現地ほ場では、厳寒期の寒さ対策について、意見交換しました。

農業改良普及課からは、高温期に地温を抑制するマルチ資材の試験結果を報告し、資材の効果的な使用方法について提案しました。

資材を使用した生産者からは、穴のあけ方や資材使用時の除草管理について意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も青ネギの周年安定生産に向けて支援していきます。

農業大学校・留学研修受入農家等交流会



講師の体験談に聞き入る参加者

11月29日、南国市で農大生・留学研修受入農家等交流会を開催し、本年度の研修生3名を含む12名が参加しました。

農業改良普及課は、受入農家と連携し、講師の選定と会の運営を行いました。

Iターン就農した講師の体験談を聞いた後、研修生からは就農後の不安や、農協職員に求める姿などについて質問が出され、受入農家も一緒になって意見交換を行いました。

農業改良普及課は、今後、新規就農者を対象にした歓迎会や研修会を計画しています。

ニラ部会の経営発展に向けて



経営分析結果の説明

12月9日、香美市香北町で、JA土佐香美ニラ部会香北支部経営研修会を開催し、39名が参加しました。

農業改良普及課は、経営分析を行った25戸について、どのように経営改善していくかを提案しました。

参加者からは、所得率や10a当たり収量の違いなどについて質問があり、経営規模や雇用労力の違いが収量や所得に密接に関係していることが理解されました。

農業改良普及課は、今後もニラ部会を対象に、経営分析、経営改善についての支援をしていきます。

ソラマメの播種体験 リレー栽培開始(苗の引き渡し式)



小学生と交流する直販部会員

12月11日、谷相地区集落営農組合直販部会では香美市立大宮小学校の1年生が播種したソラマメを受け取り、実証ほ場に定植しました。

子供達が1か月間世話をした苗の大きさは様々でしたが、トレイの底から出た根を引っ張る時には「重たくて動かない」とか、「大きく育ってね」といった声が聞かれました。

早速、定植した直販部会員からは「責任重大だね」と、5月の収穫体験を楽しみにしていました。

農業改良普及課では、学校連携による直販部会の活性化に向けて、体験授業の開催を支援していきます。

菰生米研究会反省検討会を開催



食味比較を行う参加者

12月12日、JA土佐香美香北支所で平成25年度の水稲反省検討会を開催し、22名が参加しました。

農業改良普及課からは、平成25年度の気象と生育概要、病害虫の発生情報について紹介しました。

また、専門技術員による雑草対策と良質米生産に向けた講演の後、米の食味を比較しました。

米の食味比較には、4地区で肥料などを違えて栽培したヒノヒカリを用いました。

参加者からは「栽培管理についてよく理解できた。」「地区や栽培方法によって食味が異なることが実感できた。」などの声が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も香北町の菰生米生産技術・品質向上に向けて支援していきます。